

高校1年4月、いま何を学ぶべきか

2024. 4. 13 (土)

高校数学Ⅰは「整式」から始まります。

ふつう、高校・数学Ⅰは「整式」という単元から始まります。

(数学Aも並行して学習する学校もありますが…)

数専ゼミの「整式」の「学習計画書」を紹介します。→ Link: | [Essay_733](#) |

このメニューの中から、勉強したい項目(学習目標)を選んで指導を受けることができます。

どれを勉強していいかわからないときは、先生が、志望大学のレベルと学力の進み具合を鑑みて学習する項目を選んでくれます。

数専ゼミでは「学習書」を使って学びます

数専ゼミでは、「学習書」を使った自学自修の学習システムで学習します。

数専ゼミの学習で使う「学習書」は、他の塾の教材とは異なる次の3つの特徴をもっています。

①問題の解き方の説明がとて詳しく、論理的で覚えやすくなっております。

例えば、【考え方】では、問題文で与えられた条件とそれに関連する定理や規則をどのように組み合わせるかを「全体の解法の流れ」を設計するかにについて説明してあります。

* これは、参考書や問題集では、めったに記述されていないが、初見問題を解くときに役立つ貴重な情報です。

また、[答案]の部分では、解法プロセスをデジタルに説明してあります。

だから、どんなことをどんな順序で考えると問題が解けるのかを”線形に”理解できます。

* 参考書などでは、だらだらと答案が書いてあり、何をどんな順序で考えたらいいいのかがよく理解できませんし、あるいは、極端に簡潔な形で答案が書いてあって、なぜこのように考えるのかよく理解できません。

②応用力を育てるための十分なアウトプット用練習問題が用意されています。

分かって解けなければテストでは得点になりません。

最悪の学習法は「分かったつもり」で学習を終えることです。

一生懸命に勉強していても、テストの点数があがらない人のほとんどが、分かること(インプット学習)だけに集中し、アウトプット学習を十分にしていないことが原因です。

解き方を理解したらそれを教科書の基本から入試レベルまでいろいろなタイプの問題に適用して使ってみるのです。

ここで使えるようになってはじめてその解法が「分かった」といえるし、テストで通用する学力になるのです。

* 参考書では、1つの例題に対して類題は1、2題しか載っておりません。

かつ、例題と同じ考え方で解けるとは限りません。

だから、例題で学んだ解法を応用する力を身につけることはかなり困難です。

③「学力化学習法」という学習法で学習するので、解法を確実に身につけることができます。

前述のように、最悪の学習法は「分かったつもり」で学習を終えることです。

しかし、自分が「分かった」のか、それとも「分かったつもりの段階」なのかを判断することは、ひとりではなかなかできないことです。

好きこのんで「分かったつもり」の段階で勉強を終えているわけではなく、「分かったつもり」ならざるを得ない学習しかできないことに原因があります。

そこで、もし、「分かった」ことをチェックし、それを確認しつつ学習を先に進めていけるシステムで学習したら、どういうことになるのでしょうか。

当然、学力は”うそみたいに”向上していきます。

「解けない」を、必ず「解ける」にしてから学習を先に進めるからです。

学力化学習法

このような方法で学習を進める学習システムが、数専ゼミの「学力化学習法」です。

(1) 解いた問題はすべて、その正誤(○×)をチェックし、コンピュータに入力します。

「学習計画書」の到達度の欄には、どの問題が解けて、どの問題がまだ解けていないかの一覧が記録されます。(到達度の一覧表は、次回に”リスト”として個々の生徒に渡します。)

これは、ここまでの学力の到達度を”視覚化”したものです。自分の学力の到達点が目で見えます。しかも、「どんな問題がまだ解けていないか」など、到達点を具体的に知ることができます。だから、今、どんな問題を勉強すればいいのかが”見えます”。

しかも、「今勉強すべき問題(教材)」も計画書に、具体的に指示してあります。それに基づいて、その問題を解けるようにすることで、”解けない”をつぶしていけます。

(2) その解けなかった問題を復習した後で、その問題が解けるようになったかどうか、「学習計画書」に記録されます。これを見れば、復習しても、まだどの問題が解けていないかが”見えます”。これは、かなり苦手な問題といえます。要注意問題です。

(3) この段階でも、まだ解けていない問題は、さらにその問題を学習し直し、解けるようになるまで”可視的”に繰り返し、復習を続けます。

このようにして、”解けない”を徹底的につぶしていきます。

■学力を高めるには、これ以上の学習方法などあり得ません。

■なお「学力化学習法」の具体的な学習方法については、下記の記事でご覧になれます。

「学力化学習法」→ Link : | [Essay_622](#) | 「数専ゼミ学力化学習法(2)」

体験学習からどうぞ

無料で体験学習ができます。

まずは、「学力化学習法」で学習してみてください。「分かる」ことを超えて、「できる」ことを体験できます。

トップページのMENU | [無料体験学習](#) | から、体験学習の受講方法を紹介しております。